

研究進捗報告書

ミーティング日：2020年7月27日

学年 D2

氏名 吉田 皓太郎

注意：ミーティング時には、必ず本報告書を作成し、一部を教員に提出すると共に、一部を自分用に持参して下さい。本報告書の提出がない場合、ミーティングは実施しません。また、項目1)から項目3)について未記入の箇所がある場合にも、ミーティングは実施しません。なお、本報告書は手書きでも構いません。

テーマの概要

- 機械学習を用いたカップ形状の設計支援
- 着後形状予測のためのカップの変形解析

テーマの目的

1. 定性的な機能要求を満たせるようなカップ形状を設計できる
2. 布の物性とカップのパターンがどのような結びつきを持っているかを調べることができる。

今週のミーティング事項について

目次

1	研究進捗などについて	1
1.1	タイトル	1
1.2	概要	1

ミーティング事項の具体的な内容について

1 研究進捗などについて

学会講演の概要は

1.1 タイトル

ガウス過程回帰を用いたブラジャーカップの機能発現設計支援

1.2 概要

ブラジャーカップは、様々な機能要求を達成するために、パターンと呼ばれる複数枚の布地を用いて作成されている。ブラジャーカップには、「寄せる」といった機能の発現評価と形状の相関があいまいなものも多く存在しており、その設計現場では、求められる機能の発現要求に対するパターンの設計は、紙模型を作成して形状に対する機能発現の評価を行いながら、経験と勘に基づき行われることから、非効率的であると考えられている。そこで本研究では、その設計効率化を目標として、微分幾何学の形状表現手法と機械学習を用いた、機能発現評価のモデル化を行う。

4) メモ欄 (ミーティング中に記載)

5) 次回のミーティングまでの課題 (ノルマ) (ミーティング終了時に記載) ※学生、教員共に記載
